

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・3月の前半は、前年に対してあまり良い動きをしていなかったが、後半にかけて徐々に良い感じがしてきている。全体的に見ても、良くなる兆しがみえている。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・数年前から観光客向けの物販は伸び悩んでいるが、3月の状況からして今後も期待ができない状況である。今後は地元客向けの商品開発も進めながら売上アップを計る。
		スーパー（経営者）	・今月はほぼ前年並みの売上を達成している。ただし、商品の値上げは依然として続いており、今後客の買い控えの傾向が表れてくると厳しい状況になる。
		コンビニ（エリア担当）	・賃金アップは無しといった背景から、客の購買意欲は上がることなく現状のまま推移する。パンやラーメン等の値上げ部門の売上増はあっても、全体の売上増にはリンクしていない。
		観光型ホテル（営業担当）	・ゴールデンウィークの予約状況は決して良くないが全体的にはまあまあの数字である。
		通信会社（店長） 観光名所（職員）	・特に主だった景気刺激策が無い。 ・4月以降の沖縄への入域観光客は、原油高に伴う航空運賃、諸物価の高騰の影響により厳しい状況が予想される。しかし、沖縄はこれから夏本番を迎え、海に関するイベントが実施されることから前年度並みの入域観光客数は維持できる。
	やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・前年より売上高は減少している状況である。客数が減っているのも、悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・県内景気が好転する様な社会情勢ではなく、4月1日からの各種値上げにより、買い控えはなお進む。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客の春休み・入学シーズン等、例年の季節感のある売上シーズンが今回は期待できない。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・再生紙問題や原油高騰により、仕入れ値の値上げが徐々に始まってきている。消費者は最近シビアなので必要最低限の商品しか購入しない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・地元の客の外食回数が減っていて、なおかつ徹底した低価格帯にシフトしており、東京のような高価格帯の店舗の需要はまだ少ない。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・ゴールデンウィーク明けの集客が悪く、5月全体では前年比で6～7%下回っている状況である。
		通信会社（サービス担当）	・携帯電話業界は他社との競争が激しく、先がみえない。
ゴルフ場（経営者）		・基本的には低単価による集客が全体的に否めない感がある。特に、例年の中北部のコースにも当てはまるが、キャディ無しのセルフでのプレイなどの、安価による集客が影響し、売上の的にもかなり厳しい状況にあるとみている。	
悪くなる	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・今年の4月のゴールデンウィークは、日並びが悪いせいか、予約状況が前年に比べて悪い状況にある。	
	商店街（代表者） 百貨店（担当者）	・中心商店街と呼ばれる「マチグラー」のエリアは、買い回り商品の店は段々減って、ほとんど観光関連である。土産品店や飲食店になりつつあり、お互いに客を奪い合い、客割れの状態が起こっている。地元客は外周部の大型店を利用しているため、現在商売は大変危機的な状況下に陥っている。 ・更に生活防衛感が増大し、消費が低迷する。主力の衣料部門は季節と件の影響や生活防衛感から来る消費の低迷の影響を強く受け、今後も苦戦傾向は継続する。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・改正建築基準法での着工遅れがそろそろ動き出す。
	変わらない	輸送業（営業担当）	・物流の需要はあっても、燃料高騰に伴う収益の圧迫は更に増している。各メーカーや小売店での燃料高騰に伴うコスト増について、商品への転嫁は徐々に進んでいるが物流業界の物流費への転嫁は足踏み状態が続く。
		会計事務所（所長）	・クライアント企業の客単価の改善は、当面感じられない様子である。
	やや悪くなる	食料品生産業（管理部門） 通信業（営業担当）	・円高傾向は好影響をもたらすが、それ以上に原油高騰や主原料価格高騰によるマイナス影響が発生している。 ・サブプライムローン問題の影響で設備投資等に影響があると考えられる。仕事量が減少の方向にある。

		広告代理店（営業担当）	・県内の一般企業を中心に、この先の一般消費動向の先行きが見えないという意見がかなり出ているという状況から、民
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・今月までは契約・売上共に伸びているが、諸経費の高騰がどのくらい影響を及ぼすが不透明である。中長期契約が多く大きな数字の変化は無いとみられるが、短期・単発の依頼が続くかどうか分からない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・県外の新規求人数の増加は見込めるものの、県内企業の動向が不明であるため劇的に求人が増加する見込みはない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・県外の求人がおう盛であるのに比べて、県内の求人の勢いが前年に比べて弱い。また、県内企業の求人が年度替わりのため、これからの動向をみなければよく分からない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数の減少を感じる中、企業の採用活動が春の就職シーズンにもかかわらず動きが鈍い傾向を感じる。採用の鈍化から、企業の業績が横ばい又は下降傾向があると推測される。
		職業安定所（職員）	・原油、原材料の高騰等、景気を支えたといわれる輸出産業への円高の悪影響もあるが、公共料金・社会保障費・物が軒並み高くなり出費が増す状況で消費者の節約意識が高まり、消費が鈍化すると懸念される。企業の今後の景気判断のマイナス修正等からも先行き不透明である。
悪くなる	-	-	